

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		こらいずたかす		公表日		令和8年 3月 31日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点など	課題や改善すべき点	
環境・整備・運営・体	1	訪問支援に使用する場合の教員教材は適切であるか。	<input type="radio"/>		支援で使っている用具と併用しています	保護者や訪問先から要望がありましたら、検討いたします 今後も訪問支援に適した教材の整備を進めていきます。	
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	<input type="radio"/>		常勤5人、で運営しており、おおむね適切と判断しています 訪問支援員2名(作業療法士・保育士)で対応しております。		
業務改善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	<input type="radio"/>		直接支援はもちろん、関連した業務についても、結果と改善を心掛けるようにしています。		
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>		保護者様のご意見を伺って、業務改善に努めています		
	5	従業員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>		会議や事業所内において、意見交換の機会を設けています。		
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>		外部評価とまではいきませんが、鷹栖町の健康福祉課、教育委員会、町立小・中学校、町立保育園、鷹栖消防署、鷹栖派出所等の関係機関から、適宜ご指摘や指導を承っています。	訪問支援施設及び保護者からいただいた外部評価の結果を業務改善につなげていきます。	
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	<input type="radio"/>		職員キャリアパスに則って、日常的OJT(支援実施中の指導)のほか、管理者が外部の研修会等で講演した内容を職員に伝達しています	定期的に内部研修を行い、積極的に外部研修にも参加しています。 令和7年度 外部研修 12件 内部研修 6件	
適切な支援の提供	8	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	<input type="radio"/>		保護者の希望も伺いながら、本人が過ごしやすくなる手立てを考えながら作成しています		
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	<input type="radio"/>		発達状況と今後の課題について、子どもに関わる職員で話し合いながら計画書を作成しています		
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	<input type="radio"/>		利用状況に応じて、訪問先施設や先生などと連携しながら保育所等訪問支援計画を作成していきます		
	11	保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	<input type="radio"/>		共通理解のもとで支援を行えるよう、情報共有を行っています。		
	12	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	<input type="radio"/>		発達指標：「乳幼児発達スケール」 感覚処理能力：「日本版感覚プロファイル」 視覚認知力：「WAVES」 社会適応性：「旭出式社会適応スキル検査」 他、ツールを用いて子どもの適応行動の状況を確認しています	令和8年度から新版K式発達検査2020を実施していきます。	
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	<input type="radio"/>		ガイドラインの内容を踏まえながら、支援を設定しています		
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	<input type="radio"/>		計画に沿った支援が行えるよう、職員間で共有や支援方法の見直しを行っています		
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	<input type="radio"/>		始業前のスタッフミーティング(8:30~9:00)で確認しています		
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	<input type="radio"/>		支援の振り返りや気づいた点等を共有しています	スタッフミーティングやモニタリング会議の時間を設け、打ち合わせを行っています。必ず実施していないので、変化等の共有はしていくようにしたいと思います。	
17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	<input type="radio"/>		訪問先の理念や教育方針などを確認し、実施しています			

関係機関や保護者との連携	18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。	<input type="radio"/>	毎回、記録を取ることを徹底しています。また、支援に反映させていきます	必ず記録し、振り返りできるようにしています
	19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	<input type="radio"/>	保護者の意向や訪問先の意向を確認し、見直しを行っています。	
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	<input type="radio"/>	担当者会議には、管理者または児童発達管理責任者が出席しています。	
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	<input type="radio"/>	①鷹栖町立保育園への専門支援事業 ②乳幼児発達健診の参画 ③5歳児検診の参画 ④就学前健診時の参画 ⑤自立支援協議会の参画等を実施しています。	
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	<input type="radio"/>	小学校、中学校に進学する子どもについては、保護者の依頼・同意があれば、文書等で事業所の支援について連絡しています。ケース会議や参観日の際に訪問させてもらい、情報共有しています。	
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	<input type="radio"/>	職員キャリアパスに則って、日常的OJT（支援実施中の指導）の他、管理者が外部の研修会等で講演した内容を職員に伝達しています 令和7年度 外部研修 11件 内部研修 8件	定期的に内部研修・外部研修を継続するとともに、当事業所職員による講演についても職員にフィードバックしていきます。
	24	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	<input type="radio"/>	鷹栖町役場の福祉課などから適宜助言等を受けています。	
保護者等への説明等	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	<input type="radio"/>	自主通園している保護者には、療育場面を通し発達状況や課題について説明しています。送迎サービスを利用している保護者に対しても可能であれば月に一回程度来所していただくようお願いしています	
	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	<input type="radio"/>	ペアトレのような継続的で体系化されたプログラムは実施していませんが、子どもの行動の理解や対応方法を保護者に説明するようにしています。	保護者に対して講演会を実施しました
	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	<input type="radio"/>	利用開始、契約の際には説明を行い、いつでも見られるように応接スペースに掲示しています	必要に応じて面談の機会を設定し、または電話、LINE、文書等で説明していきます。
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	<input type="radio"/>	訪問先と連携し、情報共有しながらどのような手立てが良いのかを提案していきます	
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点から踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	<input type="radio"/>	事前にご家族の意向を確認し、作成しています	
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	<input type="radio"/>	必ず保育所等訪問を示しながら、支援内容の説明を行っています	
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	<input type="radio"/>	定期的に面談を行い、迅速に対応できるようにしています	
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	<input type="radio"/>	父母の会や保護者会は設置していませんが、鷹栖町役場に協力してもらいながら、保護者向け講演会を開催しました	保護者向け講演会を定期的に開催します。
	33	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	<input type="radio"/>	できる限り迅速に対応できるようにしています。苦情については、直接職員に言いにくいことを踏まえ、第三者委員を委嘱して相談できるようにしています	
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	<input type="radio"/>	不定期ですがこらいず便りを発行し、発達支援に関する情報を発信してきました	2～3か月に一度の定期発行を目指します
	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	<input type="radio"/>	職員への周知の徹底、個人記録保管庫の施錠など、取り扱いには注意を払っています	
	36	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	<input type="radio"/>	お子さんの特性や親の心理を理解して接し、説明することができるよう心掛けています。ご相談に対しては、機会を設けて対応しています	

訪問先施設への説明等	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	○		できる限り迅速に対応できるようにしています 苦情については、直接職員に言いにくいことを踏まえ、第三者委員を委嘱して相談できるようにしています	
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	○		実施後、訪問先にお時間をとっていただき、カンファレンスを行っています	
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	○		施設訪問実施後、記録を保護者と共有しています	
	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		職員への周知の徹底、個人記録保管庫の施錠など、取り扱いには注意を払っています	
	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	○		できる限り迅速に対応できるようにしています 苦情については、直接職員に言いにくいことを踏まえ、第三者委員を委嘱して相談できるようにしています	
非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアルを策定しています。感染対策では、感染対策委員会を設置し、感染対策マニュアルを策定しています。	各種マニュアルを策定していますが、保護者様への周知が十分ではありませんでしたので、会報等でお知らせしていけるようにします。
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		安全計画を策定し、作業の安全について安全装置、保護具その他危険防止のための設備・器具の点検及び整備を行っています。	
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		ヒヤリハット事例については、記録を残し、事故発生防止に向けて検討するようにしています 令和7年度 ヒヤリハット 8件 事故 0件	
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		「虐待防止委員会」を設置し、「虐待防止対応規定・マニュアル」を改定しました。虐待防止委員会及び虐待防止に関する職員研修は年2回定期開催することとしています	職員に対してこれらの知識、ノウハウを教育していくことで、虐待を未然に防いでいくようにしていきます
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		身体拘束を要する場合は「虐待防止委員会」において議論するとともに本人とよび保護者の同意を得ることとしています。身体拘束の要否については発達支援計画書に記載することとしています。	